

天皇盃 第37回全国車いす駅伝競走大会への参加申込参考資料（R7.6.3 暫定版）

※記載内容は前回大会を基本にした暫定版であり、正式な募集開始時（例年 11 月下旬送付）に変更される場合があります。

1 参加申込について

- (1) 参加申込書（第1号様式）に必要事項（第2～3号様式）を添えて、令和8年1月中旬までに大会事務局あてに申し込んでいただく予定
- (2) 参加チーム数は、各都道府県2チーム以内とする。但し、政令指定都市のある道府県については、その都市数を加えたチーム数の範囲とします。
- (3) 政令指定都市のある道府県で複数チームが参加する場合のチーム編成は、同一道府県内で自由とします。
- (4) チームは、同一都道府県内に在住、在勤又は在学する者で編成すること。

ただし、チーム構成員の出身中・高等学校所在地、または3年以上在住・在勤していた都道府県から出場することができる。この場合、事前に都道府県間、チーム間の調整をしておくこと。又、申込書第1号様式の右端の備考欄に○印をし、別紙に出身学校名・学校の住所・卒業年月日、または、3年以上在住・在籍していた職場等の住所・在籍期間を記入のこと。（例：○○県の中・高等学校出身で出場する場合は「備考欄」に○をし、出身地出場選手名簿に※※学校、△△県++市、□年▲月◆日卒業と記入）

- (5) 各都道府県単独で選手人数不足のため、チーム編成ができない場合、同一地域ブロック内の複数の都道府県合同でチーム編成することも認める。
- (6) チーム編成でお困りの場合は、事務局にご相談ください。

○京都障害者スポーツ振興会 075-712-7010 kyoto@spo-shin.net

○京都府障害者支援課 075-414-4603 j-yano56@pref.kyoto.lg.jp

（例 ○○県選手3名＋△△県選手2名でチーム編成）

ブロック	都道府県名	ブロック	都道府県名
北海道・東北	北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
関東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	四国	香川、徳島、愛媛、高知
東海	静岡、愛知、三重、岐阜	九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

- (7) チーム名は、原則として各都道府県名を使用するものとする。但し、複数チームが参加する場合は、該当道府県名に「A」「B」等を付しその区分を明確にするか、若しくは道府県名と都市名を使用するものとする。また、ブロックチームの場合はブロック名を使用する。（例：○○A・○○B、○○県・○○市、△△ブロック）

- (8) 参加にあたっては、当該都道府県・政令指定都市の身体障害者福祉主管課及び障害者スポーツ協会（団体）で共有してください。
- (9) 選手の参加資格は、令和 7 年 1 月 1 日以降の各種大会等で次のいずれかの参考記録を目安とします。

3000m 走の記録が 1 2 分、5 0 0 0 m 走の記録が 2 2 分程度で走れることが望ましい。

2 参加申込書（第 1 号様式）

- (1) 本申込書に記載されていない選手等は、本大会には出場できません。
- (2) 年齢は令和 8 年 3 月 8 日現在の年齢を記載（要・保険）
- (3) 監督又はコーチが選手を兼ねる場合は、選手氏名欄にも氏名を記載し、住所欄にその旨記載してください。なお、この場合の選手の人数は 7 名以内とすること。
- (4) 本大会では、競技に関わる事故等については応急の処置を除き一切の責任を負いません。参加選手は、事前に各自で健康診断（心電図、胸部 X 線写真、血圧、血液検査、尿検査等）を受け、健康状態を確認しておくこと。なお、大会前日には、「セルフチェック」を行い、体調が悪い場合は申し出て、必ず大会本部の医師の診察を受けること。
- (5) 大会中の映像・写真・記事・記録・申込者の氏名、年齢等のテレビ・新聞・雑誌・インターネット等への掲載権と肖像権は主催者に属します。

3 来会調査表（第 2 号様式）

- (1) 来会人数と到着日について

3 月 7 日（土）伊丹空港に 1 1 時 3 0 分頃までに、JR 京都駅に 1 4 時までに到着の場合に限りボランティアによる送迎が可能です。それ以外の日程で来会する場合は、各自で受付のあるザ・プリンス京都宝ヶ池へ集合ください。

- (2) 大会コースの下見希望の有無について

3 月 7 日（土）にコース下見を希望する場合は、参加人数に応じて車両を調整するため、下見希望人数と車いすの台数を記入してください。

- (3) 往路について

ア 記入例を参考に、出発地から京都市内までの経路を、交通機関、列車・航空便名（車の場合は台数）、到着時刻等を記載すること。

イ 競技用車いすとは、レーサー等で、競技に使用する（予備含む）もので、その台数と輸送方法について記入すること。事前に宅配で搬入する場合は、事務局から搬入先を指示します。

ウ 複数の方法で来会する場合は、来会方法ごとに人数及び経路を分けて記載すること。

エ 持込車両及び貸切バスによる場合以外の交通機関を利用して来会する場合は、実行委員会で用意するバス等で京都駅（又は大阪空港）から選手受付場所（ザ・プリンス京都宝ヶ池）まで計画輸送する。なお、関西国際空港へのバスでの輸送は行わないため、関西国際空港に発着するチームはＪＲ京都駅まで各自で来ること。（但し、空港・京都駅での乗降介助は行う）

(4) 帰路について

ア 記入例を参考に、京都から出発する交通機関、列車・航空便名（車の場合は台数）、出発時刻等を記載すること。

イ 持込車両等で来会しているチームは、閉会式後、ザ・プリンス京都宝ヶ池まで輸送する。閉会式後は輸送バス・トラック等で混雑するため、京都市西京極総合運動公園内に持込車両の進入を禁止する。また、競技場周辺への路上駐車は絶対にしないこと。

(5) 上記について、変更した場合は、（日時調整中）までに大会事務局へ連絡すること。

（それ以降の変更については、原則として受け付けられませんのでご了承ください。）

4 宿泊者名簿（第３号様式）

(1) 宿泊・食事について（以下予定）

ア 宿舎については、大会運営上の都合により、主催者で京都市内のホテルを確保する。

イ 選手団（監督・コーチ・選手）の大会前日の宿泊代及び朝食代は、実行委員会で負担する。

ウ 実行委員会が斡旋する宿泊対象者は、参加申込書に記載されている全員であるが、選手団（監督・コーチ・選手）以外（介助・応援・視察等）の宿泊料については、１泊１食（朝食）宿泊税で実費（１７，８００円程度Ｒ６大会実績）の自己負担とする。なお、選手団と同一ホテルにならないこともある。

エ ３月７日（土）の選手団の夕食は交歓会の実施方法を含め参加チームあて案内します。

選手団以外の方で選手団と同じ夕食を希望する場合は自己負担とします。

オ 宿舎名、旅行代理店名等具体的な事項は、別途参加チームに連絡する。

(2) 監督又はコーチが選手を兼ねる場合は、選手団区分の「選手」欄にも○印を記載すること。

また、各項目の必要な欄に○印、台数等を記載すること。

5 「たけびしスタジアム京都」（京都市西京極総合運動公園陸上競技場）で行う１，５００ｍ競走記録会について

(1) 出場対象者は、天皇盃 第３７回全国車いす駅伝競走大会に参加申込した選手で、当日の正選手以外の選手とする。

- (2) 出場を希望するチーム（選手）は、別紙第1号申込書に出場希望の有無等を記入し、駅伝申込書と同時に送付すること。
- (3) 出場選手のエントリーは、事前に送付した用紙に必要事項記入の上、3月7日（土）の監督会議受付時に提出すること。
- (4) 当日、午前10時30分（時間厳守）に、たけびしスタジアム（西京極陸上競技場）記録会選手集合場所に集合すること。
- (5) 組分け、レーン順は、主催者が決定し、前項選手集合場所で発表する。
- (6) アスリートビブスは、駅伝出場選手と同じく、所定のところに必ず着けること。
- (7) 競技終了後、記録証を授与する。

6 その他

- (1) 大会日程は（調整中）
- (2) 大会参加者に対する計画輸送（調整中）
- (3) チーム参加料、個人参加料については、事前振り込みをお願いすることとし、参加チームが確定した後に事務局から連絡する。
- (4) 大会当日が荒天時等で実施不可能と判断した時、大会は中止とする。
また、感染症等の社会情勢によって中止する場合がある。

※前回の申し込みフォームについては下記ホームページを参照ください。

<http://spo-shin.net/ekiden/about/>